

学校だより 熱砂

<発行>
令和2年5月21日
発行責任者：校長
和田 政男

オンラインによる「キャリア・レクチャー」充実した学びの場に

5月19日の2～3校時に、G5～G9の児童・生徒を対象に、キャリア・レクチャーが行われました。例年、ドバイで活躍する日本人の方にゲストティーチャーとして学校に来ていただき、児童・生徒向けの講話をしていただいております。今年は児童・生徒は登校できず、オンラインでの学習が続いているところですが、先生方はオンラインでのキャリア・レクチャーを企画してくださいました。

今回ゲストティーチャーとしてお願いしたのは6名の方で、いずれも本校のPTA会員でもあります。誰もが初めて経験するオンラインでのキャリア・レクチャーでしたが、とても実り多いものになりました。

児童・生徒は予め、お聴きしたい講話を二つ選び、2時間目と3時間目に違った方の講話をお聴きしました。私は、全ての講話を10分ぐらいずつ、こっそりお邪魔して聴かせていただきました。どのお話もとても興味深いお話で、「これは子どもたちの将来への夢が膨らみ、仕事というものへの考え方がより深まっただろう」と確信いたしました。6人の講師先生の紹介と、私がわずかな時間お邪魔して、そのときたまたま話されていたことを紹介することで、キャリア・レクチャーの様子をお伝えしたいと思います。

Atlantis The Palm 内「NOBU」

寿司カウンターヘッドシェフ

岩田さん

大切にしていることが3つある。「こだわり」「臨機応変」(もう一つを聞きそびれてしまいました。残念)

「こだわり」、妥協しない。常に、最高のものを目指し、今よりもおいしいものを追及している。

まさに職人氣質のその言葉に、職業人としての生き様を感じました。

The Bvlgari Resort Dubai 内、「Hōseki Restaurant」

マネージャー&ヘッドシェフ

杉山さん

「調味料の量を間違えることはありませんか？」と子どもたちの質問に、「調味料はこれぐらい使う、というのは決めていない。その日の気温や湿度、食材によって変わるものだから。若いときにたくさん失敗したこと、それが財産になっている。」

「在ドバイ日本国総領事館」領事

道辻さん

海外に居る日本人の安全を守るのはもちろんだが、日本に行こうとする外国人のビザ発給をとおして、日本にとって好ましくない人物の入国を防いでいる。言わば、日本における最初の防波堤が、在外公館の仕事のひとつである。

国家公務員として国を守っているという、講師先生の使命感の強さが伝わるお話でした。

「ガートナー」にご勤務されていた

メリス公香さん

仕事というのはお金のためだけじゃない。自分の行動で周りの人々を助けることができる。社会に貢献することができる。これが仕事である。

ぐいぐい迫る語り口、明るく積極的な講師先生のお話は、子どもたちを意欲的にする力をもっておりました。

「日立製作所」にご勤務

馬島さん

「どうやって客の求めるものを知ることができるのですか？」という子どもたちの質問に、「その質問はまさしくビジネスを展開する上でのポイントです。」と応え、「協創」という言葉を紹介してくださいました。客のニーズを把握し、それに応えるという次元を超えた、客と共に協力して作り上げるという発想。

カフェ「KOBEEa」にご勤務

林さん

「使う色、使うフォントを統一している。これにより、ブランドのイメージが定着する。」との説明後、日本のコンビニ3社の色だけを紹介。その色だけでそれが何を表しているかを当てるクイズを実施。

色だけで、それがコンビニであり、どのコンビニかが即座に分かるのには驚きました。

ゲストティーチャーの皆様、お忙しい中、大変お世話になりました。ありがとうございました。